

じぶんの町を良くする会議 2021 第10回 赤い羽根全国ミーティング 開催要項

「今だからこそ頑張ろう！～地域で大切な共同募金の価値と新たな役割～」

1 趣 旨

- 赤い羽根全国ミーティングは、共同募金運動に携わる関係者が集い、各地域での先進的な事例や地道な取り組みについて共有しながら、共同募金の役割や可能性について語り合い学び合うことを目的に2010年から開催されてきました。
- 志を同じくする者たちがつながり合うことで、モチベーションを高め、それぞれの地域に戻ってからの実践に活かしていく機会として貴重なこのミーティングは、集合形式で過去9回実施され、パンデミックが世界を席卷した2020年度は、オンデマンド形式により、映像で各地をつなぐかたちで実施されました。
- パンデミック下において、他者とのこれまでどおりのコミュニケーションが難しくなるなか、地域では、孤立、孤独の問題がさまざまなかたちで顕在化しています。また、全国の社会福祉協議会における緊急小口資金、総合支援資金のこれまでになく規模に膨れ上がるなど、地域の経済状況も非常に厳しくなっています。
- こうした状況において、身近なつながりを維持するために取り組まれている活動に対して、共同募金会は、さまざまなかたちで支援を続けており、このことは、活動団体、寄付者双方から非常に高く評価され、地域で欠くことができない資金として、共同募金の存在があらためて浮き彫りになってきたところです。
- この間のパンデミック状況を受けた地域の変化と、それに寄り添ってきた地域福祉の役割は、新たな歴史に入りました。そして、この間共同募金会が絶えることなく行ってきた助成活動による支援は、共同募金の新たな可能性を示していると考えています。
- オンラインにより開催する第10回 赤い羽根全国ミーティングは、**「今だからこそ頑張ろう！～地域で大切な共同募金の価値と新たな役割～」**をテーマにパンデミックを挟んだ赤い羽根共同募金の「これまで」と「これから」について、関係者がともに考えていくために開催します。

2 主 催 社会福祉法人 中央共同募金会

3 後 援 (予定) 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

4 期 日 令和3年8月25日(水)～26日(木)

5 開催方法 オンラインにより開催 (URLについては後日連絡)

6 参加対象

- (1) 市区町村共同募金委員会役職員・運営委員等
- (2) 都道府県共同募金会役職員・配分委員等
- (3) 市区町村社会福祉協議会役職員
- (4) 都道府県社会福祉協議会役職員
- (5) 共同募金会の募金協力組織・団体の皆さま
- (6) 共同募金会の助成を受けた活動団体の皆さま
- (7) その他関心のある方

7 参加定員 全体会 300 名、各分科会は 150 名(目安)

8 参加費 無料

9 参加申込 以下アドレスよりお申し込みください。
<https://e.try-sky.com/akaihane-meeting/>

10 プログラム概要

8月25日(水)

13:30～13:45 主催者挨拶

14:00～15:30 全体会

16:00～16:45 表彰式と実践報告～全国津々浦々リレー企画～

8月26日(木)

10:00～11:30 分科会①「地域の丁寧な募金活動のために」

分科会②「助成は価値創造！

～助成の意味を考えることで共同募金を見つめなおす～」

13:30～15:00 分科会③「温故知新～共同募金の歴史をひもといて～」

分科会④「地域における助成の工夫を考える」

16:00～17:00 クロージング

11 プログラム詳細（予定）

8月25日(水)14時～15時30分

全体会 「パンデミック下の共同募金会の動きと今後について」

座談会「これからの地域福祉と共同募金

共同募金は長らく地域のファンドとして「多様な地域課題」を解決するものとして機能してきました。パンデミックに見舞われた昨年度、共同募金は決定事業の計画(内容)変更への対応や、全国キャンペーンを含む当年度助成の試みを行い、活動者寄付者から高く評価をされました。

これは共同募金に「特定の社会課題」をめざす機能が新たに加わりつつあることを意味しています。座談会では、パンデミックにより共同募金会、社会福祉協議会はじめ活動団体や寄付者が置かれた状況を振り返り、今だから求められる共同募金の機能とその活用について、話し合います。

<登壇者>

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 上野谷 加代子氏 | (同志社大学名誉教授 中央共同募金会企画・推進委員会委員長) |
| 高橋 良太氏 | (全国社会福祉協議会 地域福祉部長) |
| 中島 孝夫氏 | (神奈川県共同募金会 常務理事・事務局長) |
| 長谷部 治氏 | (神戸市兵庫区社会福祉協議会 地域支援課長) |
| 熊谷 有祐 | (中央共同募金会 運動推進部長) |

8月25日(水)16:00～16:45

表彰式・実践報告

～全国津々浦々リレー企画～

共同募金運動は、日本全国約1700市町村の皆さんの参加により展開されています。今回ははねっとデータより過去5年間の実績を抽出し、知恵と工夫をこらし募金活動を展開し実績増に結びついている共同募金委員会の表彰および実践報告を行います。

8月26日(木)10:00～11:30

分科会①「地域の丁寧な募金活動のために」

主な対象者：共同募金の募金方法に課題を感じている方
他地域の募金実践を知りたい方 等

共同募金は地域づくりのためのツールであり、さまざまな場面で市民と関わり地域で行われている多様な活動の大切さを伝えています。

この分科会では、令和2年度も力強く募金活動を展開し、募金実績の成果をあげた市町村共同募金委員会の事例を紹介します。

パンデミックで募金活動の方法に制限が課されたなか、どのような工夫がなされたのか、ぜひ覗いてみませんか。

<登壇者> 栃木県共同募金会 大田原市支会 阿久津 大輔 氏
愛知県 半田市共同募金委員会 丹羽 佐紀子 氏
<コーディネーター> 富山県 黒部市社会福祉協議会 小柴 徳明 氏

8月26日(木)10:00～11:30

分科会②「助成は価値創造！」

～助成の意味を考えることで共同募金を見つめなおす～

主な対象者：助成担当になって間もない方
助成の価値を再確認されたい方
配分委員・共同募金委員会役員 等

共同募金は「助成と募金の好循環」を生み出すことで、運動性が高まり、盛り上げをみせることができ、「助成は地域を元気にするもの」であります。この理由として、助成は価値をつくためのものであり補助金や委託金等とは性質が大きく異なることが挙げられます。

この分科会では、その違いをとらえ、柔軟な発想で取り組める共同募金の可能性について考えます。

<登壇者> 公益財団法人セゾン文化財団 理事長 片山 正夫 氏
群馬県共同募金会 係長 星野 久子 氏
<コーディネーター> 中央共同募金会 基金事業部長 秋貞 由美子

8月26日(木)13:30～15:00

分科会③「温故知新～共同募金の歴史をひもといて～」

主な対象者：共同募金担当になって間もない方
共同募金の歴史に関心ある方 等

「共同募金にはDNAが存在する？」

共同募金運動は今年で75回を迎えます。戦後にはじまった共同募金運動は、多くの困難を乗り越え現代にまでその歴史を紡いできました。各時代における共同募金関係者はどのようなことを考え、共同募金運動を展開きたのでしょうか。

この分科会では、当時の史実や実践を紹介しながら、今起きているパンデミックに私たちがどのように立ち向かうべきかを考えます。

<登壇者> 中央共同募金会 常務理事・事務局長 阿部 陽一郎

8月26日(木)13:30～15:00

分科会④「地域における助成の工夫を考える」

主な対象者：今の助成を見直したい方
地域の活動を応援したいと思っている方

昨年度は、パンデミックにより地域福祉活動そのものを維持することが難しくなりました。このような時に共同募金の助成ができることは何だったのでしょうか。

この分科会では、助成を通じて地域福祉活動や住民一人ひとりの思いを大切に共同募金運動の展開をしている事例を紹介します。地域にとっていちばん身近な共同募金だからこそできる助成の役割を一緒に考えてみませんか。

<登壇者> 滋賀県 甲賀市共同募金委員会 大倉 崇弘 氏
山口県 下関市共同募金委員会 谷村 鴻文 氏
<コーディネーター> ふくおか NPO センター 代表 古賀 桃子 氏

8月26日(木)16:00～17:00

クロージング

- * 分科会報告（各運営協力者から）
- * 運営協力者紹介
- * まとめ（中央共同募金会 常務理事・事務局長 阿部 陽一郎）